

…統計データを使った京都の地域分析…

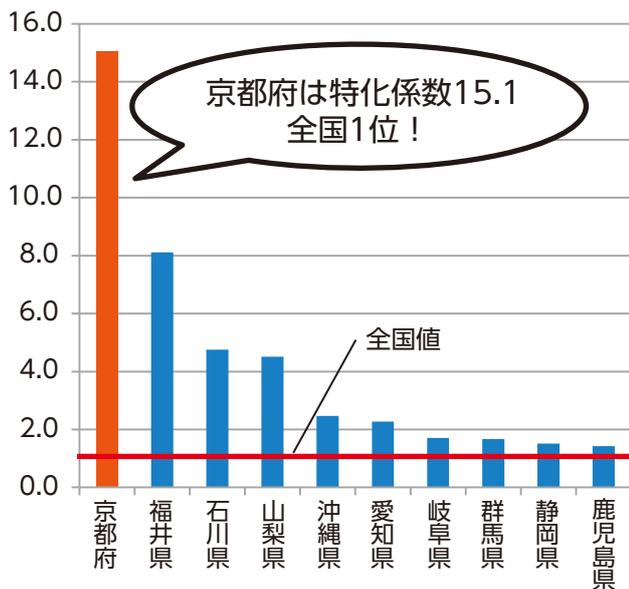
～統計調査の結果から、意外な京都の姿も見えてきます～

産業の視点から見た京都府の文化の特色

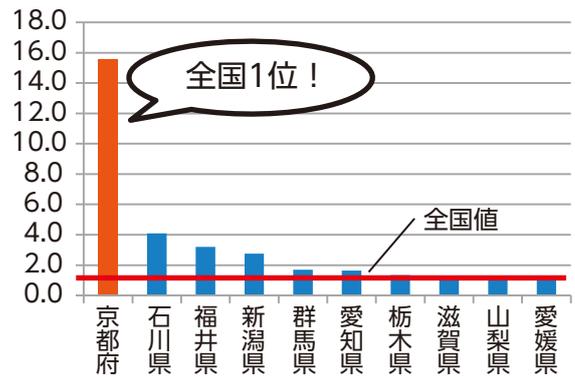
～平成24年経済センサス-活動調査より～

京都府は古くから豊かな日本文化が生き育まれてきた地ですが、統計データはどのような姿を物語るのでしょうか。平成24年経済センサス-活動調査をもとに、特化係数（※1）を切り口にして分析をしてみましょう。まずは、日本の伝統的衣装である「和装」に関する産業の事業所数を見ていきます。

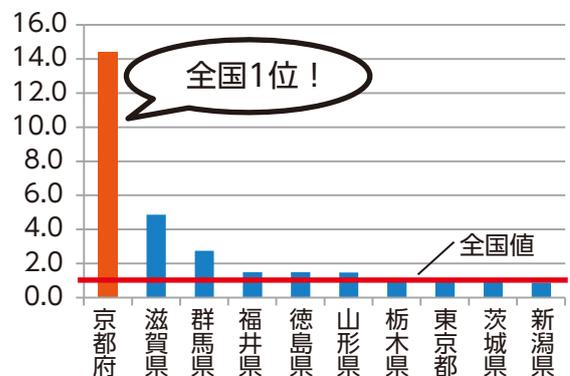
織物業の事業所数



染色整理業（※2）の事業所数



和装製品製造業（足袋を含む）の事業所数



織物業、染色整理業（※2）、和装製品製造業の事業所数はどれも2位以下に大差をつけており、京都府の特化産業と言えます。



©京都府 まゆまる 2853006

出典：平成24年経済センサス-活動調査
（総務省・経済産業省）

（※1）特化係数とは？

特化係数とは、全国と比較してどの程度特化しているか（特徴があるか）を見る指標です。特化係数が1を超えていれば、全国に比べて特化しているといえます。

$$\begin{aligned} \text{（例）京都府の織物業事業所数の特化係数} &= \frac{\text{京都府の織物業事業所数 } 2,524}{\text{京都府の全事業所数 } 117,884} \div \frac{\text{全国の織物業事業所数 } 7,751}{\text{全国の全事業所数 } 5,453,635} \\ &= 15.1 \text{（※）} \end{aligned}$$



（※）小数点第2位以下で四捨五入して表記しています。

（※2）染色整理業…糸や織物、ニット生地を所定の色、柄、風合いに仕上げる加工をする事業
（8ページに続く）